

赤ちゃん誕生から生まれた
Aprica

ベビー&チャイルドシート・ベッド
マシュマロターンベッド Wサーモ
〈850〉〈950〉〈1050〉

取扱説明書／保証書

体重2.5kg以上18kg以下のお子さま用です。
自動車の3点式シートベルト装着の座席のみ使用できます。



このたびは、Aprica製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
取扱説明書に記載されている以外の方法で使用しないでください。
また、お読みになった後は、本書を大切に保管してください。

ご使用前に

ご使用上の注意

横向きベッド使用

後ろ向き使用

前向き使用

困ったときに

お手入れ方法

保証について

06-07

06MTBW-01

もくじ

ご使用前に 3

ご使用前の確認	3
各部の名称	3
チャイルドシートについて	5
保護者の方へのアドバイス	5
本書の表示について	5
使用条件	6
座席の条件／座席の位置及び装備	7
座席の条件／座席の形状	8
シートベルトの条件／シートベルトの種類	9
シートベルトの条件／シートベルトの位置	10

ご使用上の注意 11

危険	11
警告	12
注意	13
禁止	14
緊急時のお子さまの降ろし方	14
ラベルについて	15
ラベル類の貼付位置	15

横向きベッドで使用する 17

プロテクター・パッド類について	18
肩ベルトの位置	24
肩ベルトの高さを調節する	24
レッグサポートを取り付ける	29
本体を取り付ける	30
本体が安定しない場合	35
取り付け後の確認	36
お子さまの乗せ方	37
ヘッドプロテクターの位置を調節する	39

後ろ向きで使用する 40

横向きベッドから後ろ向きにする	40
肩ベルトの位置	41
肩ベルトの高さを調節する	41
取り付け後の確認	45
お子さまの乗せ方	46

前向きで使用する 47

後ろ向きから前向きにする	47
肩ベルトの位置	48
肩ベルトの高さを調節する	48
取り付け後の確認	53
お子さまの乗せ方	54

困ったときに 55

ご使用前に困ったとき	55
車への取り付けで困ったとき	55
お子さまの乗せ方で困ったとき	56
中古品のご使用について	56
重要	56

お手入れ方法 57

シートカバーの外し方	57
シートカバーの洗濯	59
樹脂部分のお手入れ	59
保管するときは	59
廃棄するときは	59

保証について 60

保証期間とアフターサービス	60
当社連絡先	60
製品の仕様	60
保証書	62

ご使用前に

ご使用前の確認

- ・製品を箱から取り出した後に、部品が崩れているか、破損がないかを確認してください。
- ・欠品や破損など、ご確認された場合は使用を中止し、お買い上げの販売店または当社サービス係までご連絡ください。

各部の名称

正面

肩パッド
年少者用肩ベルト(肩ベルト)
バックル
股ベルトカバー
座面
肩ベルト調節レバー
肩ベルト調節ベルト
回転ロック解除レバー

⑤段目
④段目
③段目
②段目
①段目
肩ベルト通し穴
タンクホルダー
年少者用腰ベルト(腰ベルト)
腰ベルトガイド
ベルト溝
ステップ
調節ボタン
レッグサポート

背面

ヘッドレスト
リクライニングレバー
肩ベルトバー
ベルトロック
ジョイント金具
スタンド
台座
取扱説明書ポケット
肩ベルトガイド
切替レバー
本体座部
本体背面
ロット番号シール

プロテクター・パッド類

<p><950></p> <p>ヘッドプロテクターB ドーナツピロー 肩パッドA</p>	<p><950・1050></p> <p>ヘッドプロテクターC 新生児ピロー ドーナツピロー 肩パッドB</p>	<p><1050のみ></p> <p>シートパッド フットプロテクター</p>
--	--	---

・箱から取り出した状態では、本体にセットされております。

<ベンチレーション>

・お子さまの状態に合わせて切替レバーを矢印の方向に動かし、通気性を調節してください。

チャイルドシートについて

- ・チャイルドシートはシートベルトで自動車の座席に固定して使用します。これにより、自動車事故などの際に、お子さまの傷害を軽減します。ただし、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
- ・本品は日本国内においてのみ、ご使用いただけます。

保護者の方へのアドバイス

- ・お子さまをはじめに車に乗せる時から、チャイルドシートの使用を習慣にしてください。
- ・長時間のドライブでは、定期的に休憩を取って、お子さまの気分転換をはかってください。

本書の表示について

- ・「危険」、「警告」、「注意」、「禁止」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したものです。大変重要な内容ですので、必ずお守りください。

表示	表示の内容
	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
	誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定されます。
	製品の取扱いの禁止の行為です。絶対してはいけません。

使用条件

- ・下記の条件を満たさないお子さまには絶対使用しないでください。この条件を満たさないお子さまには事故時のダメージを軽減する効果がありません。
- ・お子さまの成長に合わせて、3通りの使い方があります。

横向きベッド使用	体 重…2.5kg以上8kg未満
<p>リクライニング…3段目(ベッド)</p>	<p>・あおむけに寝かせた時、肩ベルト、腰ベルトが体にフィットすること。</p> <p>・ヘッドプロテクターを使用すること。</p>
後ろ向き使用	体 重…7kg以上10kg未満
<p>リクライニング…2段目</p>	<p>・首が安定し、一人座りができること。</p>
前向き使用	体 重…9kg以上18kg以下
<p>リクライニング…1段目</p>	<p>・お子さまを座らせた時、頭部重心位置(耳の上端部)がヘッドレストの上端部より下になること。</p>

座席の条件/座席の位置及び装備

〈お奨める取り付け座席の位置〉

・お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの列の座席に取り付けることをお奨めします。

〈やむを得ずフロントエアバッグが装備された座席に取り付ける場合の注意〉

・やむを得ず前向きに取り付ける場合は、エアバッグの作動によるケガを防ぐため、座席をいばん後ろまで移動させてください。
・横向きベッド使用、後ろ向き使用では取り付けないでください。

〈サイドエアバッグが装備された座席に取り付ける場合の注意〉

・車の取扱説明書に従って取り付けてください。
・自動車メーカーのお客様相談窓口にお問い合わせください。

〈取り付けできない座席〉

	・車の進行方向に対して横向き及び後ろ向きの座席。
	・前列の中央座席。(前列ベンチ座席仕様車)
	・座席以外のピラーやドアなどの車両構造物に本品が接触して、正しく取り付けできない座席。

座席の条件/座席の形状

〈取り付けできない座席〉

	・奥行きが40cm未満及び52cm以上の座席。(補助座席、幼児専用座席) ・座面から床までの高さが28cm以下及び42cm以上の座席。
	・座席のフラット面が狭く38cm未満の座席。 (市販座席に取り替えられた車両、スポーツ車、レース車、補助座席、幼児専用座席など)
	・臀部をホールドするため凹形にくぼんだ座席で、バックル位置が座面より15cm以上高くなる座席。 (チャイルドシートが落ち込むため安定しません)
	・大腿部、臀部をホールドするため凹形にくぼんだ座席で、チャイルドシートが安定しない座席。 (市販座席に取り替えられた車両、スポーツ車、レース車など)

〈取り付けできないフロア〉

	・車のフロアに、ヒューズボックス、収納型シート、コンソールボックス、スペアタイヤの収納スペースなどがある座席。
--	---

シートベルトの条件/シートベルトの種類

・必ず3点式シートベルトが取り付けられていること。

シートベルトの種類	特徴	取り付け上の注意
ELR (緊急ロック式巻取装置) 付シートベルト	通常はシートベルトが両側の取り付け部から自由に出し入れでき、急ブレーキや衝突などの時だけロックされる。	シートベルトをゆやかに引き出し使用すること。
A-ELR (チャイルドシート固定機構) 付シートベルト	ベルトをすべて引き出すと、入る方向にしか動かない機構のELR付き。	シートベルトをすべてもどすと、チャイルドシート固定機構が解除されます。
ALR (自動ロック式巻取装置) 付シートベルト	ベルトを引き出す途中で手を止めると、自動ロックされる巻取装置付き。	シートベルトをすべてもどすと、シートベルトロックが解除されます。
NLR (非ロック式巻取装置) 付シートベルト	ベルトをすべて引き出してから長さを調節する。	シートベルトをすべて引き出した状態から、長さを調節して使用すること。
手動調節式シートベルト	巻取装置が付いていない。	長さを調節して使用すること。

〈取り付けできないシートベルト〉

	・2点式シートベルトの座席。		・シートベルトの取り付け部が上下共巻き取り式の座席。
	・バックスシートベルトの座席。(座席に座ってドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される座席)		・市販のスポーツタイプシートベルトが装備されている座席。

注意 ・プリテンショナー付シートベルトは、強い衝撃を前面から受けた時にシートベルトを引き込みます。ベルトが引き込まれた後は、チャイルドシートを取り付けないでください。

シートベルトの条件/シートベルトの位置

〈取り付けできない3点式シートベルト〉

	・車のシートベルトの取り付け幅が、33cm未満の座席。
	・バックル側のベルトが樹脂製などで固く、バックル位置が高い座席。(RV車に多い)
	・座面より15cm以上高いと、チャイルドシートのベルト固定ガイドに干渉し、チャイルドシートが固定できません。
	・シートベルトの取り付け位置が高い座席。座面より15cm以上の座席。(2ドア車に多い)
	・車のシートベルトのバックル、及びシートベルトの取り付け位置が前方によっている座席。 ・背もたれより10cm以上前方で、シートリクライニング機構のない座席。
	・シートベルトの長さ(A+B+C)が220cm以下の座席。

ご使用上の注意

危険

誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。



レッグサポートを取り外して使用しない。



レッグサポートが車のフロアに接しない状態、及び物をはさんで使用しない。



調節ボタンの前にロックを解除するおそれのある物を置かない。

・チャイルドシートを本書の説明以外の方法で取り付けない。

・お子さまが立ったり、中腰、正座をした状態では使用しない。

・シートベルトに破損がある座席には取り付けない。



チャイルドシートが確実に固定できない座席では使用しない。



チャイルドシートのバックルを外して使用しない。

警告

誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



二人以上で使用しない。



肩ベルト、腰ベルトは、なじれ、緩んだ状態で使用しない。また、腰ベルトは背盤上以外で着用しない。



緊急時の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。

・チャイルドシート使用時は、お子さまを一人で車内に残さない。

・肩ベルトは、お子さまの肩以外の位置で使用しない。

・車の走行中にベルト調節、リクライニング操作などを行わない。

・チャイルドシートを使用中、お子さまにバックルのPRESSボタンを触らせない。



チャイルドシートの底面の一部分にクッション、座布団などを敷かない。



肩ベルトや股ベルトに損傷、半裂、焦げなどがある場合は使用しない。

注意

誤った取り扱いをすると、使用者が傷を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。



チャイルドシートを直射日光にさらさない。金属部品などが熱くなり、やけどのおそれがあります。



チャイルドシートを車の可動式シートやドアに挟まない。



固定されていない物を車内に置かない。

・本体の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。
・車の座席が革仕様の場合には、直接取り付けない。保護マットなどを使用する。
・火などの近くに放置したり、長時間屋外に放置しない。
・シートベルトで固定せずに、通常の椅子として使用しない。
・お子さまが乗っていない場合でも、チャイルドシートのタンクはバックルから外しておかない。
・小さなお子さまにチャイルドシートの取り付けや、操作をさせない。
・チャイルドシートに重畳物を載せない。
・バックルに水やジュース、泥水、ゴミなどが入った場合は使用しない。



チャイルドシートがシフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす座席には取り付けない。



シートベルトで固定していないチャイルドシートを車内に置かない。

禁止

製品の取り扱いの禁止の行為です。絶対してはいけない内容です。



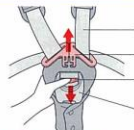
本品を分解、改造、指定部品以外の交換はしなない。



シートカバーやクッション材を外したり、他のものと交換したり、破れた状態で使用しない。

・ご使用中及び点検で異常を発見した場合は、そのまま使用せず当社サービス係までご連絡ください。(P54 参照)

緊急時のお子さまの降ろし方



緊急の際はあわてずに…

- ①バックルのPRESSボタンを押し下げ、タンクを外す。
- ②肩ベルトをお子さまから外す。
- ③お子さまをチャイルドシートから降ろす。
- ④安全な場所へ避難する。



バックルからタンクが抜けない時は…

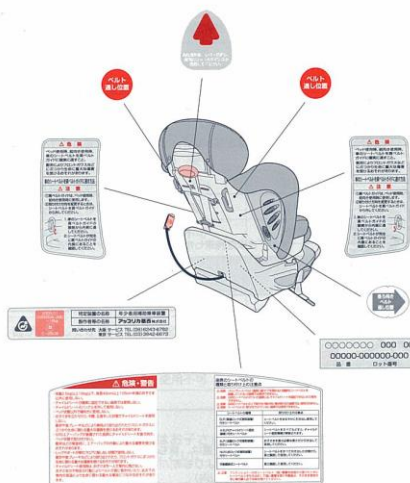
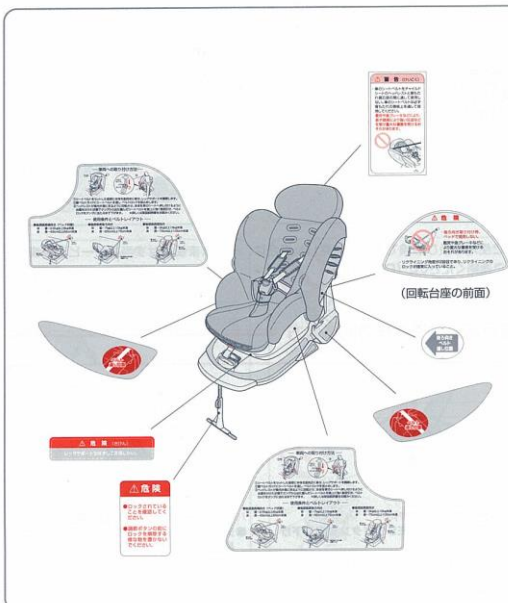
- チャイルドシートの肩ベルトをシートベルトカッター（市販品）などで切り、お子さまを降ろす。

ラベルについて

- ・製品には、使用上の注意を記載したラベルを貼付しています。ラベルをお読みいただき内容を必ず守ってください。
- ・ラベル類は汚したり、はがしたりしないでください。

- ・ラベル類が読めなくなった場合は、製品名、品番をご確認の上、お買い上げの販売店または当社サービス係までご連絡ください。

ラベル類の貼付位置



横向きベッドで使用する

体重：2.5kg以上8kg未満（参考身長：49cm以上65cm未満）
ヘッドプロテクターを必ず使用すること。

△危険

・SRSエアバッグが装備された座席に取り付けない。

△危険

・横向きベッド状態以外で使わない。

△注意

・お子さまの頭が車の外側になるように取り付けない。

△注意

・お子さまを抱えたままリクライニングを起こさない。

△注意

・座面が車のドアトリムなどに干渉しドアを開めることができない場合はその座席に取り付けない。

△注意

・肩ベルトの位置は、背もたれに対して直角に見え、お子さまの肩よりも高い位置にしてください。（0～5cm以内）

△注意

・肩ベルト通し穴位置の4段階、5段階は使用できません。

肩より高い

肩より低い

プロテクター・パッド類について

- ・次の表は、各プロテクター・パッド類の取り外し時期の目安です。
- ・ヘッドプロテクターB、Cは横向きベッド使用時には必ず必要です。

(850)

発達状況	ヘッドプロテクターB	ドーナツピロー	腰パッドA
新生児	必要	必要	必要
首が安定してから	必要	取り外し可	必要
腰が安定してから	必要	取り外し可	取り外し可
後ろ向き・前向き	使用不可	使用不可	使用不可

(950・1050)

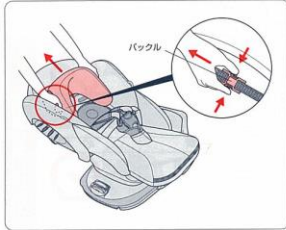
発達状況	ヘッドプロテクターC	新生児パッド	ドーナツピロー
新生児	必要	必要	必要
首が安定してから	必要	取り外し可	取り外し可
腰が安定してから	必要	取り外し可	取り外し可
後ろ向き・前向き	使用不可	使用不可	使用不可

発達状況	腰パッドB	シートパッド
新生児	必要	必要
首が安定してから	必要	取り外し可
腰が安定してから	取り外し可	取り外し可
後ろ向き・前向き	使用不可	使用不可

- ・プロテクター・パッド類はお子さまの発育状況により上記の表を参考のうえ取り付け、取り外しを行ってください。

- ・フットプロテクターは、車内温度及びお子さまの状態により必要に応じて使用してください。

〈ヘッドプロテクターの取り外し方/850・950・1050〉……………



①ヘッドプロテクターの左右にあるバックルの上下のボタンをつまんだ状態で、ヘッドレスト側に抜き取ります。



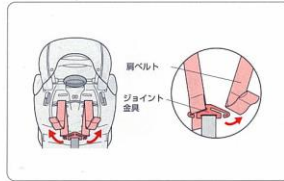
②ヘッドプロテクター位置調節ベルトをシートの中に収納します。

・取り外したヘッドプロテクターはビニール袋などに入れ大切に保管しておいてください。

〈取り付け方〉

・ヘッドプロテクター位置調節ベルトをシートの中から出し、ヘッドプロテクターのバックルを通して取り付けます。

〈ドーナツピローの取り外し方/850・950・1050〉……………



①左右の肩ベルトをジョイント金具から外します。(P25参照)



②背もたれから肩ベルトを引き抜きます。



③ドーナツピローを取り外します。

・取り外したドーナツピローはビニール袋などに入れ大切に保管しておいてください。

〈取り付け方〉

・左右の肩ベルトをドーナツピローの肩ベルト通し穴に通します。

〈腰パッドAの取り外し方/850〉……………



①左右の肩パッドを肩ベルトから抜き取ります。



②左右のタングをバックルから外し、左右の腰パッドAを肩ベルトから抜き取ります。



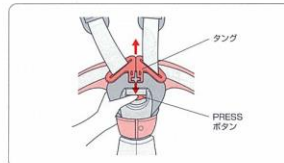
③左右の肩パッドを肩ベルトに通します。

・取り外した腰パッドAはビニール袋などに入れ大切に保管しておいてください。

〈取り付け方〉

・肩パッドを肩ベルトから抜き取り、腰パッドAを通して、肩パッドを通します。

〈腰パッドBの取り外し方/950・1050〉……………



①左右のタングをバックルから外します。

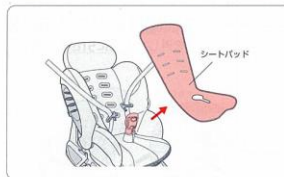


②ホックを外し、腰パッドBを取り外します。

〈取り付け方〉

・腰パッドBを股ベルトに巻き付け、ホックをとめます。

〈シートパッドの取り外し方/950・1050〉……………

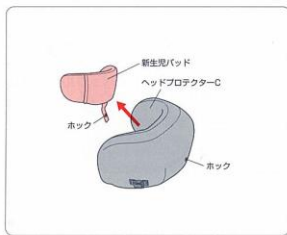


①左右の肩ベルトをジョイント金具から外し、背もたれから肩ベルトを引き抜き、シートパッドを取り外します。

〈取り付け方〉

・左右の肩ベルトと股ベルトをシートパッドの通し穴に通して取り付けます。

＜新生児パッドの取り外し方／950・1050＞



●ヘッドプロテクターの後面のホックを外し、新生児パッドを取り外します。

＜取り付け方＞

・新生児パッドのホックをヘッドプロテクターにとめます。

＜フットプロテクターの取り外し方／1050＞



●座面の下側にまわしてあるゴムベルトを外し、上方に引き抜きます。

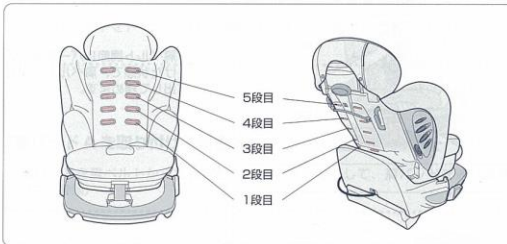
＜取り付け方＞

・股ベルトをフットプロテクターの通し穴に通して取り付け、ゴムベルトを座面の下側にまわしてとめます。

23

肩ベルトの位置

・参考身長はあくまで目安です。お子さまの肩の高さに合わせて調節してください。



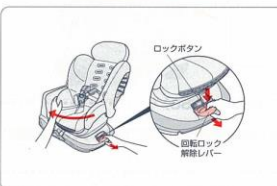
＜横向きベッド使用＞

体重	参考身長	肩ベルト通し穴位置
2.5kg以上8kg未満	50cm位	1段目
	58cm位	2段目
	65cm位	3段目



・横向きベッド時では肩ベルト通し穴の4段目、5段目は使用できません。

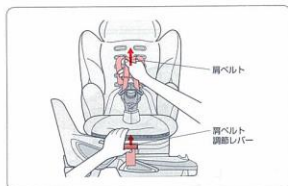
肩ベルトの高さを調節する



1

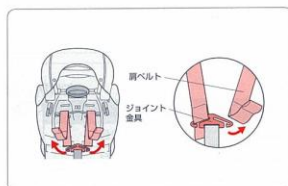
ロックボタンを押した状態で、回転ロック解除レバーを手前に引いて本体を横向きに回転させます。

24



2

肩ベルト調節レバーを持ち上げた状態で、肩ベルトを引き出して緩めます。



3

本体背面のジョイント金具から左右の肩ベルトを外します。



4

背もたれから肩ベルトを引き抜き、左右のタングをバックルから外します。

＜シートパッドを取り付ける場合／950・1050＞

・左右の肩ベルトと股ベルトをシートパッドの通し穴に通して取り付けます。(P22参照)

25

＜ドーナツピローを取り付ける場合／850・950・1050＞

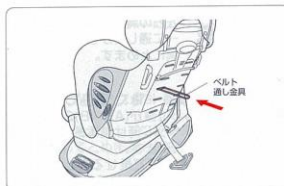
・左右の肩ベルトをドーナツピローの肩ベルト通し穴に通します。(P20参照)

＜腰パッドAを取り付ける場合／850＞

・肩パッドを肩ベルトから抜き取り、腰パッドAを通して、肩パッドを通して。(P21参照)

＜腰パッドBを取り付ける場合／950・1050＞

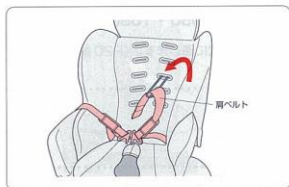
・腰パッドBを股ベルトに巻き付け、ホックをとめます。(P22参照)



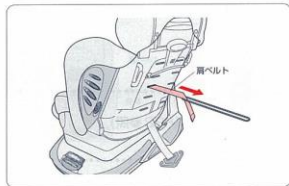
5

お子さまの体格に合った肩ベルト通し穴位置を選択し、背もたれの背面側からベルト通し金具を差し込みます。

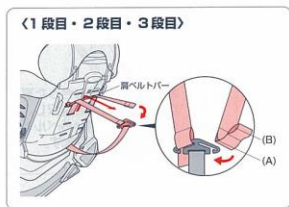
26



6 本体正面からベルト通し金具に肩ベルトを通します。



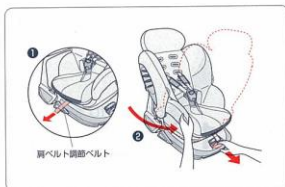
7 ベルト通し金具を背面側に引き、肩ベルトを背面側に引き出します。



8 左右の肩ベルトを肩ベルトバーに通してからジョイント金具にとめます。

・肩ベルトには、ジョイント金具にとめる位置が(A)、(B)2段あります。ベッド時は基本的に(A)の位置を使います。
・(A)の位置で乗せることができない場合は(B)の位置を使います。

注意 ・肩ベルトを外した状態で調節ベルトを引かない。万一調節ベルトを引き込んでしまった場合は、調節レバーを上げ調節ベルトを後方に送ってください。
・肩ベルトをジョイント金具にとめる際に、調節ベルトがねじれていないことを確認してください。



9 ① 肩ベルト調節ベルトを引き、ジョイント金具部のたるみをなくします。
② 本体を前向きに戻します。

〈新生児パッドを取り付ける場合/950・1050〉……………

・新生児パッドのフックをヘッドプロテクターにとめます。(P23参照)

〈ヘッドプロテクターを取り付ける/850・950・1050〉……………

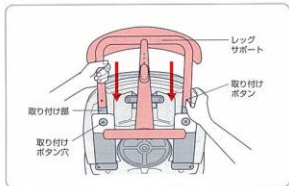
・ヘッドプロテクター位置調節ベルトをシートの中から出し、ヘッドプロテクターのバックルを通して取り付けます。(P19参照)

〈フットプロテクターを取り付ける場合/1050〉……………

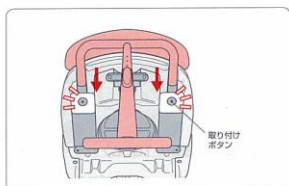
・設ベルトをフットプロテクターの通し穴に通して取り付け、ゴムベルトを座面の下側にまわしてとめます。(P23参照)

レッグサポートを取り付ける

・レッグサポート取り付け部が見えるように本体を後方に倒します。



1 左右の取り付けボタンを押した状態で、レッグサポートを左右の取り付け部に同時に差し込みます。



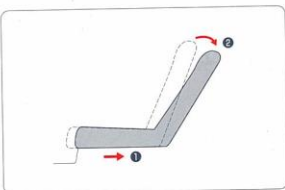
2 取り付けボタンが取り付けボタン穴に確実に入るまで押し込みます。

・本体を起こします。

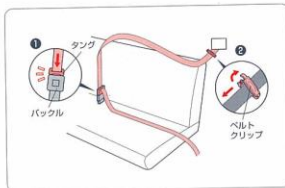


3 左右の調節ボタンを押して、一番短くしておきます。

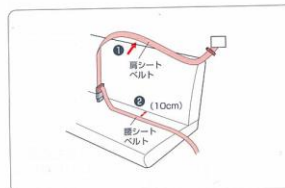
本体を取り付ける



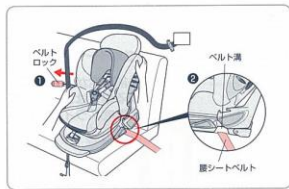
1 ① 車の後部座席が前後にスライドする場合は、一番後ろの位置までスライドさせます。
② リクライニング付きの場合は少し寝かせた状態で取り付けます。



2 ① シートベルトにねじれがないことを確認して、タンクをバックルに差し込みます。
② シートベルトを全て引き出し、ベルトクリップでシートベルトを仮止めします。

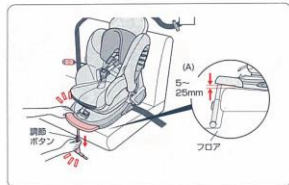


3 ① 肩シートベルトをシートの上側にのせます。
② 腰シートベルトをシートの背もたれから10cm手前にねじれないようにおきます。



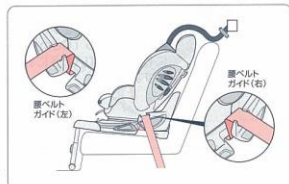
- 4**
- ①ベルトロックを座席のバックル側に引き出します。
 - ②本体を前向きに乗せ、ベルト溝と腰シートベルトを合わせます。

注意 ・車の座席が革仕様の場合には、直接取付けない。革が損傷を受けないようにチャイルドシートと座席の間に保護シートマットをご使用ください。

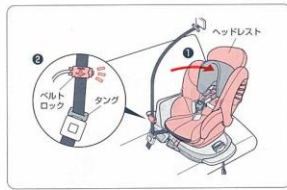


- 5**
- レッグサポートの調節ボタンを押し、車のフロアにレッグサポートの底面全体が接地し、安定するように調節します。

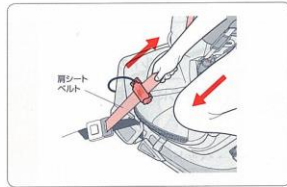
注意 ・(A)のスキ間は5~25mm未満であること。(25mm以上になる場合は、レッグサポートを1段階縮めてください。)



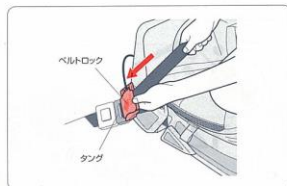
- 6**
- 腰シートベルトを左右の腰ベルトガイドにねじれないように通します。



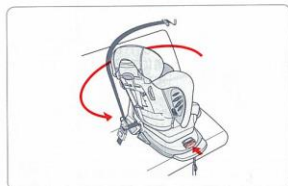
- 7**
- ①ヘッドレストが車のドア側に来るように回転させます。
 - ②ベルトロックの矢印をタング側に向けタングの少し上に仮止めします。



- 8**
- 本体に体重を掛け、座席に押しつけた状態で肩シートベルトを強く引き、腰シートベルトのたるみをなくします。

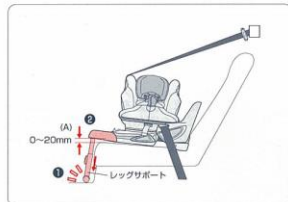


- 9**
- 肩シートベルトを引いた状態で、ベルトロックをタングに当たるまで移動させます。

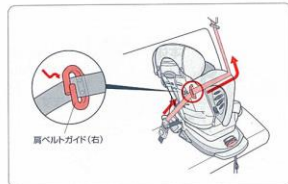


- 10**
- ヘッドレストが車の中央側に来るように回転させます。

・回転ロック解除レバーのロックボタンが戻り、固定されていることを確認します。



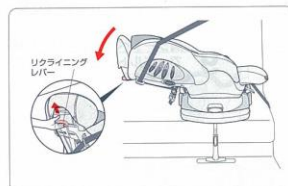
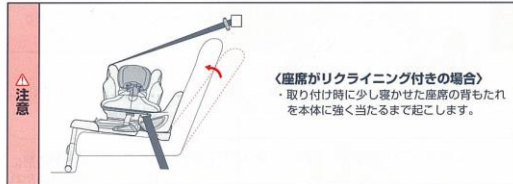
- 13**
- ①レッグサポートが車のフロアに接していることを確認します。
 - ②(A)のスキ間は0~20mm未満であることを確認します。(20mm以上になる場合は、レッグサポートを1段階縮めてください。)



- 11**
- 肩ベルトガイド(右)に肩シートベルトをねじれないように通します。

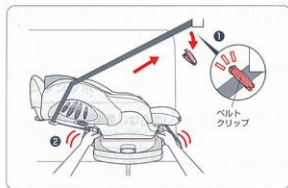
・ベッドの向きがイラストの方向と逆の場合、肩ベルトガイドは左側を使用します。

・肩シートベルトが完全に肩ベルトガイドの内側にあることを確認します。



- 12**
- リクライニングレバーを引き上げた状態で、本体のリクライニングを3段階(ベッド状態)にします。

・リクライニングレバーが戻り、固定されていることを確認します。



- 14**
- ①ベルトクリップを外し、余分な肩シートベルトを巻き取り、再度ベルトクリップを取り付けます。
 - ②チャイルドシートの台座をゆすりシートベルトの緩みが無い事を確認します。

本体が安定しない場合

〈スタンドを使用する〉



・大腿部、臀部をホールドする為に凹形にくぼんだ座席など、安定しない場合は、スタンドを立てて調節します。



・スタンドを使用しても安定しない座席にはフィットスペーサーも併せて使用してください。

〈フィットスペーサーを使用する〉



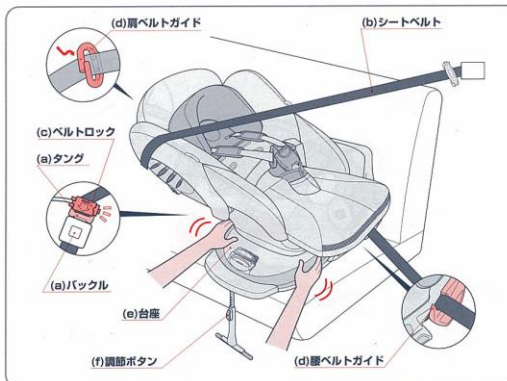
・腰部をホールドするために凹形にくぼんだ座席や、座席の背もたれ角度がチャイルドシートの台座角度に合わず安定しない場合は、フィットスペーサーを台座の背面と座席背もたれの間に挟み込んで使用します。



・スタンド及びフィットスペーサーを使用しても安定しない場合は、使用せずに当社サービス係にお問い合わせください。

・チャイルドシートを車から取り外す時はベルトクリップを最後に外してください。
・A-ELR (チャイルドシート固定機構) 付シートベルトの場合は取り外し作業中にベルトクリップを外すと、緩んだシートベルトが全て巻き取られて取り外しが出来なくなるおそれがあります。

取り付け後の確認



・取り付け完了後、しっかり固定されているか、次の項目を確認してください。

☑ チェック項目

- (a) 車のシートベルトのタングがバックルに差し込まれていること。
- (b) 車のシートベルトに緩み、たるみ、ねじれがないこと。
- (c) ベルトロックの矢印がタングを指す方向に取り付けられ、タングに接していること。
- (d) 車のシートベルトが左右の肩ベルトガイドを通っていること。
- (e) 本体の台座部分を両手で持ち、前後左右に動かしても安定していること。
- (f) レッグサポートの調節ボタンの前にロックを解除するような物がないこと。

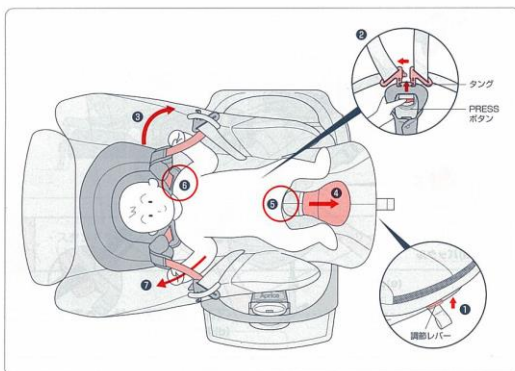
・(a)～(f)を確認し、しっかり固定できていない場合は、もう一度1～14の手順で取り付けをやり直してください。
・1～14の手順でやり直し、スタンド、フィットスペーサーを使用しても、しっかり固定できない場合は、当社サービス係までご連絡ください。



・チャイルドシートを車から取り外す時はベルトクリップを最後に外してください。
・A-ELR (チャイルドシート固定機構) 付シートベルトの場合は取り外し作業中にベルトクリップを外すと、緩んだシートベルトが全て巻き取られて取り外しが出来なくなるおそれがあります。

お子さまの乗せ方

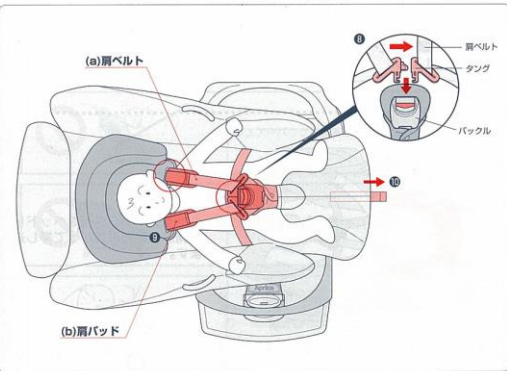
・お子さまを乗せる前に頭部マモールが取り付けられていることを確認してください。



- ① 調節レバーを持ち上げた状態で、肩ベルトを引いて締めます。
- ② バックルのPRESS ボタンを押し下げてタングを外します。
- ③ 左右のタングをタングホルダーに掛けます。
- ④ 肩ベルトを前に倒します。
- ⑤ お子さまの股間と股ベルトカバーが接するように寝かせます。
- ⑥ 肩ベルトが、お子さまの肩より高い肩ベルト通し穴に通っていることを確認します。(P17 参照)
- ⑦ お子さまの手を肩ベルトの下にくぐらせます。



・お子さまの頭頂部がマモールに押さえられていないこと。
・マモールの先端部がお子さまの耳の下より上にならないこと。
・お子さまの足が座面の先端より出ないこと。



- ⑧ バックルをお子さまの腹部に当て、左右のタングを組み合わせてから、「カチッ」と音がしてバックルに固定されるまで差し込みます。
- ⑨ 肩パッドは、お子さまの肩の上にくるようにセットします。
- ⑩ 調節ベルトを引いて肩ベルトとお子さまの体の間に大人の指1本程度まで締めます。



・肩ベルトを緩めた状態で使用しない。
衝突などの緊急時に、お子さまの安全を守るための機能が充分発揮できず生命に関わる重大な被害を受けるおそれがあります。

☑ チェック項目

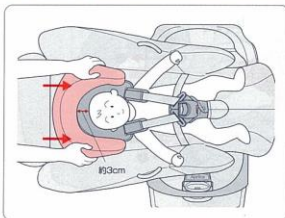
- (a) 肩ベルトが適切な位置を通っていること。(P24 参照)
- (b) 肩パッドが肩の上にあること。

・正しく着座できていない場合は、もう一度⑧～⑩の手順を行ってください。
・お子さまを乗せた後に、シートベルトに緩みがないことを再度確認してください。

ヘッドプロテクターの位置を調節する

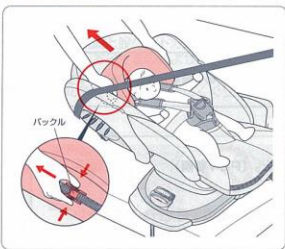
- ・横向きベッド使用時は必ずヘッドプロテクターを取り付けて使用します。
- ・お子さまの頭頂部とヘッドプロテクターのスキ間は、指2本程度（約3cm）離れた位置に調節します。

〈縮めるとき〉



・ヘッドプロテクターをヘッドレスト側から足元に向かって押し込みます。

〈伸ばすとき〉



・ヘッドプロテクターの左右にあるバックルの上下ボタンを押さえながら引きのばします。



2 肩シートベルトを肩ベルトガイドから外し、本体の下側におろします。

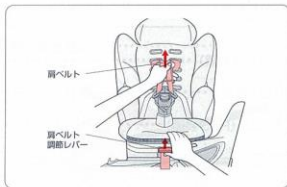
肩ベルトの位置

- ・参考身長はあくまで目安です。お子さまの肩の高さに合わせて調節してください。

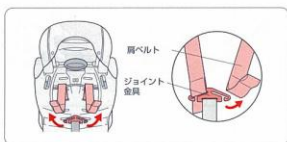
〈後ろ向き使用〉

体重	参考身長	肩ベルト通し穴位置
7kg以上10kg未満	65cm位	3段目
	75cm位	4段目

肩ベルトの高さを調節する



3 肩ベルト調節レバーを持ち上げた状態で、肩ベルトを緩めます。



4 本体背面のジョイント金具から左右の肩ベルトを外します。

後ろ向きで使用する

体重：7kg以上10kg未満（参考身長：65cm以上75cm未満）
首が安定し、一人ずわりができること。

- 注意** 後ろ向き使用時、プロテクター・パッド類は使用しない。
- 危険** SRSエアバッグが装備された座席に取り付けない。
- 警告** 後ろ向き使用時にベッドで使用しない。
- 注意** 肩ベルトの位置は、背もたれに対して直角に見て必ず、お子さまの肩よりも低い位置にしてください。（0～5cm以内）
肩ベルト通し穴位置の1段目、2段目及び、5段目は使用できません。

〈ヘッドプロテクターを取り外す〉（P19参照）

〈新生児パッドを取り外す場合〉（P23参照）

〈フットプロテクターを取り外す場合〉（P23参照）

横向きベッドから後ろ向きにする



1 リクライニングを1段目に起こします。



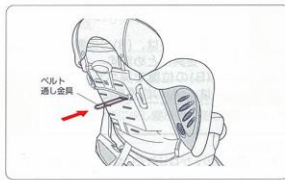
5 背もたれから肩ベルトを引き抜きます。

〈腰パッドBを取り外す場合〉（P22参照）

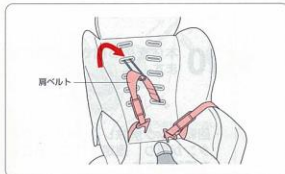
〈腰パッドAを取り外す場合〉（P21参照）

〈ドーナツビローを取り外す〉（P20参照）

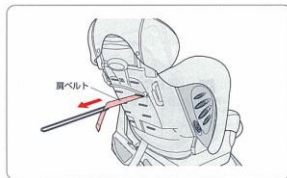
〈シートパッドを取り外す場合〉（P22参照）



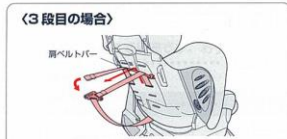
6 お子さまの体格に合った肩ベルト通し穴位置を選択し、背もたれの背面側からベルト通し金具を差し込みます。



7 本体正面からベルト通し金具に肩ベルトを通します。

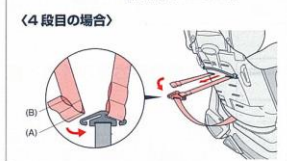


8 ベルト通し金具を背面側に引き、肩ベルトを背面側に引き出します。



＜3 段目の場合＞

左右の肩ベルトを肩ベルトバーに通してからジョイント金具にとめます。

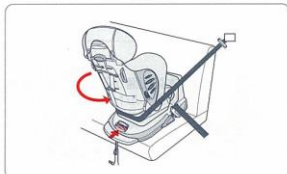


＜4 段目の場合＞

肩ベルトバーに通さず、そのままジョイント金具にとめます。

・肩ベルトは、(B)の位置をジョイント金具にとめます。
・(B)の位置で肩ベルトが余る場合は、(A)の位置を使います。

注意 ・肩ベルトを外した状態で調節ベルトを引かない。
・肩ベルトをジョイント金具にとめる際に、調節ベルトがねじれていないことを確認してください。



10 本体を後ろ向きに回転させます。

・回転ロック解除レバーのロックボタンが戻り、固定されていることを確認します。



11 本体のリクライニングを2段目にします。

・リクライニングレバーが戻り、固定されていることを確認します。



12 ①レグサポートが車のフロアに接していることを確認します。

②(A)のスキ間が0～20mm未満であることを確認します。(20mm以上になる場合は、レグサポートを1段縮めてください。)

注意 ・座席がリクライニング付きの場合
・取り付け時に少し強がせた座席の背もたれを本体に強く当たるまで起こします。

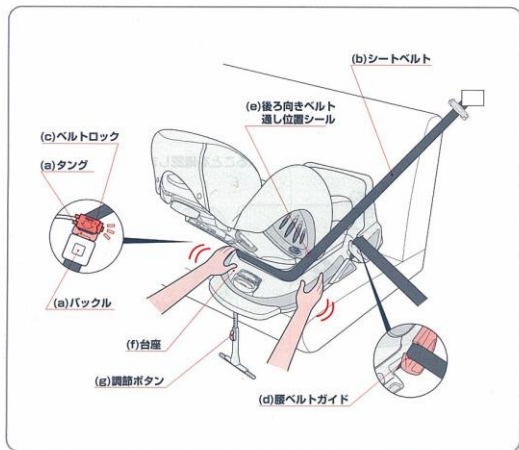


①ベルトクリップを外し、余分な肩シートベルトを巻き取り、再度ベルトクリップを取り付けます。

②肩シートベルトが後ろ向きベルト通し位置シールの近くを通過していることを確認します。

③チャイルドシートの台座をゆすりシートベルトの緩みが無い事を確認します。

取り付け後の確認



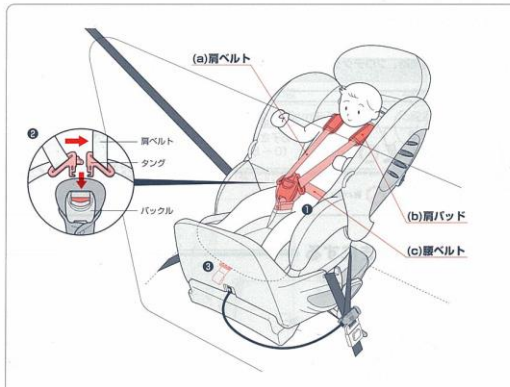
・取り付け完了後、しっかり固定されているか、次の項目を確認してください。

チェック項目

- (a) 車のシートベルトのタンクがバックルに差し込まれていること。
- (b) 車のシートベルトに緩み、たるみ、ねじれがないこと。
- (c) ベルトロックの矢印がタンクを指す方向に取り付けられ、タンクに接していること。
- (d) 車のシートベルトが左右の肩ベルトガイドを確実に通っていること。
- (e) 車のシートベルトが後ろ向きベルト通し位置シールの近くを通過していること。
- (f) 本体の台座部分を両手で持ち、前後左右に動かしても安定していること。
- (g) レグサポートの調節ボタンの前にロックを解除するような物がないこと。

・(a)～(g)を確認し、しっかり固定できていない場合は、もう一度1～13の手順で取り付けをやり直してください。
・1～13の手順でやり直し、スタンド、フィツスペースーを使用しても、しっかり固定できない場合は、当社サービス係までご連絡ください。

お子さまの乗せ方



- ①お子さまを座席に深く座らせます。
- ②左右のタンクを組み合わせてから、「カチッ」と音がしてバックルに固定されるまで差し込みます。
- ③調節ベルトを引いて肩ベルトとお子さまの体の間に大人の指1本程度まで締めます。

危険 ・肩ベルトを緩めた状態で使用しない。
衝突などの緊急時に、お子さまの安全を守るための機能が充分発揮できず生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。

チェック項目

- (a) 肩ベルトが適切な位置を通過していること。(P41 参照)
- (b) 肩パッドが肩の上にあること。
- (c) 腰ベルトが骨盤部を過るように低く下げて着用していること。

・正しく着座できていない場合は、もう一度①～③の手順を行ってください。
・お子さまを乗せた後に、シートベルトに緩みが無いことを再度確認してください。

前向きで使用する

体重：9kg以上18kg以下（参考身長：75cm以上105cm未満）

注意

・前向き使用時、プロテクター・パッド類は使用しない。

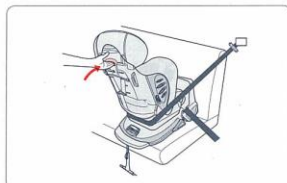
注意



・肩ベルトの位置は、背もたれに対して直角に見えます。お子さまの肩よりも高い位置にしてください。（0～5cm以内）

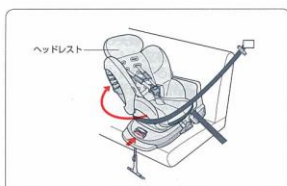
・肩ベルト通し穴位置の1段目、2段目、3段目は使用できません。

後ろ向きから前向きにする



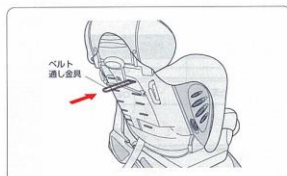
1 リクライニングを1段目に起こします。

・リクライニングレバーが戻り、固定されていることを確認します。

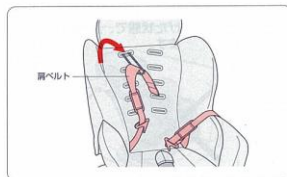


2 ヘッドレストが車の中央側に来るように回転させます

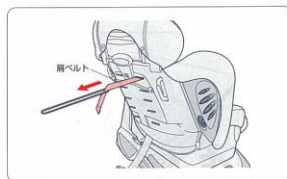
47 ・回転ロック解除レバーのロックボタンが戻り、固定されていることを確認します。



6 お子さまの体格に合った肩ベルト通し穴位置を選択し、背もたれの背面側からベルト通し金具を差し込みます。



7 本体正面からベルト通し金具に肩ベルトを通します。



8 ベルト通し金具を背面側に引き、肩ベルトを背面側に引き出します。

49

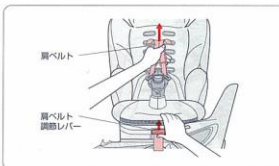
肩ベルトの位置

・参考身長はあくまで目安です。お子さまの肩の高さに合わせて調節してください。

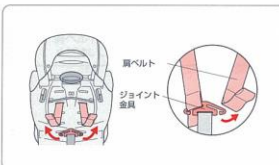
〈前向き使用〉

体 重	参考身長	肩ベルト通し穴位置
9kg以上18kg以下	75cm位	4段目
	90cm以上105cm未満	5段目

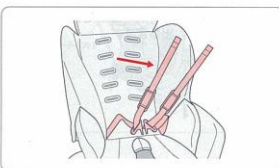
肩ベルトの高さを調節する



3 肩ベルト調節レバーを持ち上げた状態で、肩ベルトを緩めます。



4 本体背面のジョイント金具から左右の肩ベルトを外します。



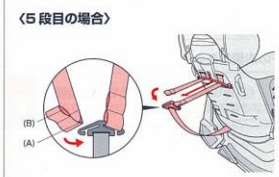
5 背もたれから肩ベルトを引き抜きます。

48



〈4段目の場合〉

9 〈4段目の場合〉
肩ベルトバーに通さず、そのままジョイント金具にとめます。



〈5段目の場合〉

9 〈5段目の場合〉
上から下に肩ベルトバーの内側を通しジョイント金具にとめます。

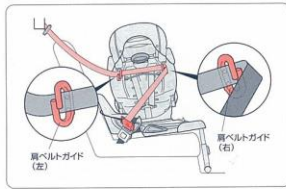
・肩ベルトは、(B)の位置をジョイント金具にとめます。
・(B)の位置で肩ベルトが余る場合は、(A)の位置を使います。

注意
・肩ベルトを外した状態で調節ベルトを引かない。
・肩ベルトをジョイント金具にとめる際に、調節ベルトがねじれていないことを確認してください。



10 肩シートベルトを座席のバックル側にまわします。

50



11 左右の肩ベルトガイドに肩シートベルトをねじれないように通します。

・肩シートベルトが完全に肩ベルトガイドの内側にあることを確認します。

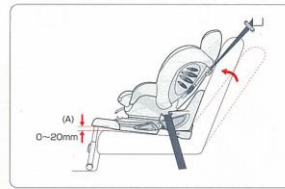


12 本体を前向きに回転させます。

・回転ロック解除レバーのロックボタンが戻り、固定されていることを確認します。



13 レッグサポートが車のフロアに接していることを確認します。



14 (A)のスキ間が0~20mm未満であることを確認します。(20mm以上になる場合は、レッグサポートを1段階縮めてください。)

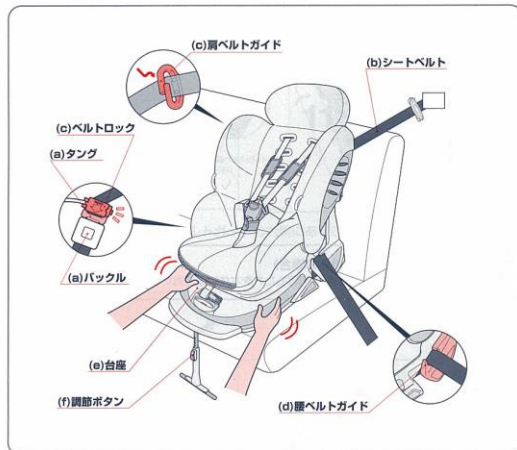
注意 **〈座席がリクライニング付きの場合〉**
・取り付け時に少し寝かせた座席の背もたれを本体に強く当たるまで起こします。



15 ①ベルトクリップを外し、余分な肩シートベルトを巻き取り、再度ベルトクリップを取り付けます。
②チャイルドシートの台座をゆすりシートベルトの緩みが無い事を確認します。

注意 ・チャイルドシート固定機構付シートベルトの場合は、横向きベッド → 後ろ向き → 前向きへの変更は取扱説明書通りに可能ですが逆の順序はできません。最初から取り付け直してください。

取り付け後の確認



・取り付け完了後、しっかり固定されているか、次の項目を確認してください。

チェック項目

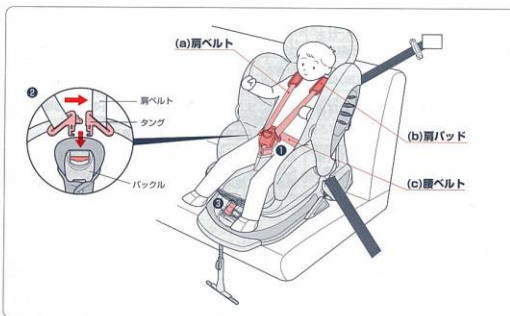
- (a) 車のシートベルトのタンクがバックルに差し込まれていること。
- (b) 車のシートベルトに緩み、たるみ、ねじれないこと。
- (c) ベルトロックの矢印がタンクを指す方向に取り付けられ、タンクに接していること。
- (d) 車のシートベルトが左右の腰ベルトガイドを通り、左右の肩ベルトガイドを確実に通っていること。
- (e) 本体の台座部分を両手で持ち、前後左右に動かしても安定していること。
- (f) レッグサポートの調節ボタンの前にロックを解除するような物がないこと。

・(a)~(f)を確認し、しっかり固定できていない場合は、もう一度1~15の手順で取り付けをやり直してください。
・1~15の手順でやり直し、スタンド、フィットスペーサーを使用しても、しっかり固定できない場合は、当社サービス係までご連絡ください。

お子さまの乗せ方



・頭部重心位置(耳の上端部)がヘッドレストの上端部より下になること。



- ① お子さまを座席に深く座らせませ。
- ② 左右のタンクを組み合わせてから、「カチッ」と音がしてバックルに固定されるまで差し込みます。
- ③ 調節ベルトを引いて肩ベルトとお子さまの体の間に大人の指1本程度まで締めます。

危険 ・肩ベルトを緩めた状態で使用しない。衝突などの緊急時に、お子さまの安全を守るための機能が充分発揮できず生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。

チェック項目

- (a) 肩ベルトが適切な位置を通っていること。(P48 参照)
- (b) 肩パッドが肩の上にあること。
- (c) 腰ベルトが骨盤部を通るように低く下げて着用していること。

・正しく着座できていない場合は、もう一度①~③の手順を行ってください。
・お子さまを乗せた後に、シートベルトに緩みがないことを再度確認してください。

困った時に

＜ご使用前に困ったとき＞

No	お気づきの点	対処方法
1	梱包箱の内容物が不足や間違いがある。	販売店または当社サービス係に連絡してください。 参照 P60「当社連絡先」
2	チャイルドシートをご使用になる車に、取り付け可能か判らない。	販売店または当社サービス係に連絡して確認してください。 参照 P60「当社連絡先」または、インターネットのアップリカホームページ「http://www.aprica.jp/」のチャイルドシート取り付け可能車種一覧表にご使用になる車の車種が有ることを確認してください。
3	車のどの座席に取り付けられればいいのか判らない。	エアバックの有る助手席に後向きに取り付けることができません。また、車両後部座席(3列シートの車両の場合は2列目以降の座席)への取付をお奨めします。 参照 P7「座席の条件/座席の位置及び装備」
4	チャイルドシートをどの向き(横向きベッド・後ろ向き・前向き)で使えば良いか判らない。	お子さまの体重・身長からお使いになる向きを決定してください。 参照 P6「使用条件」

＜車への取り付けで困ったとき＞

No	お気づきの点	対処方法
1	シートベルトの通し方が判らない。	取扱説明書及び台座の表示シールの内容に従って正しく通してください。 参照 P30「本体を取り付ける」
2	シートベルトの“ねじれ”が取れない。	チャイルドシートを取り外し、車の取扱説明書に従って“ねじれ”を取り除いてください。 参照 P30「本体を取り付ける」
3	シートベルトのゆるみやたるみを取れない。	取扱説明書に従い、本体に体重を掛け、車の座席に十分沈み込ませた状態で、シートベルトを締め付けてゆるみやたるみをなくしてください。 参照 P30「本体を取り付ける」
4	チャイルドシートを、取扱説明書の通りに車の座席に取り付けてもグラグラする。	台座を持ち前後左右に動かした時に、移動量が2.5cm以内ならば問題ありません。2.5cm以上発生する場合は、車体への取り付け方法を再度ご確認ください。もう一度初めから取り付け直してください。 参照 P30「本体を取り付ける」 何度取り付けても固定できない場合は、チャイルドシートと車の座席がミスマッチの可能性が有ります。販売店または当社サービス係に確認してください。 参照 P60「当社連絡先」

55

＜お子さまの乗せ方で困ったとき＞

No	お気づきの点	対処方法
1	肩ベルトを履も引き出した状態で、お子さまに肩ベルトを通すとバックルにタンクが差し込まない。	厚手の上着は脱がせてください。 ジョイント金具にとめる肩ベルトの位置を、肩ベルトが長くなる(B)位置にしてください。 参照 P24(横)・41(後ろ)・48(前)「肩ベルトの高さを調節する」
2	肩ベルトとお子さまの適切なフィット感が判らない。	ジョイント金具が本体や台座などに引っ掛かっていないか確認してください。 参照 P24(横)・41(後ろ)・48(前)「肩ベルトの高さを調節する」
3	肩ベルトの左右の張り大きな差がある。	肩ベルト調節ベルトを引き、ベルトとお子さまの隙間が指1本入る程度まで締め込んでください。 参照 P37(横)・46(後ろ)・54(前)「お子さまの乗せ方」
4	チャイルドシートのバックルにタンクが入らない。	肩ベルト通し穴の位置が左右同じ高さになっているか確認してください。 参照 P24(横)・41(後ろ)・48(前)「肩ベルトの位置」 肩ベルトの取り付け段が同じ位置か確認してください。 参照 P24(横)・41(後ろ)・48(前)「肩ベルトの高さを調節する」
5	ヘッドプロテクターが窮屈になった。	タンクとバックルの間にバックルカバーなどを挟み込んでいないか確認してください。 参照 P37(横)・46(後ろ)・54(前)「お子さまの乗せ方」 バックルにジュース、泥水、ゴミ、食べ物カスなどが入った時にPRESSESボタンが動かない場合は使用できません。販売店または当社サービス係に連絡してください。

＜中古品のご使用について＞

No	お気づきの点	対処方法
1	前の使用者の使用履歴が判らない。	使用状態が不明な製品をご使用になることはできません。特に事故歴の不明な場合はご使用にできません。
2	クラック(ひび割れ)や大きなキズ、留め金部の緩みなどがある。	ご使用にできません。事故などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

・解決しない場合は当社サービス係に連絡してください。

＜重要＞

・お客様登録カードは、当社よりリコールや自主回収などチャイルドシートに係る重要な情報を連絡する際に必要となります。お買い上げ日、またはお子さまが生まれた日より1カ月以内に投函してください。

56

お手入れ方法

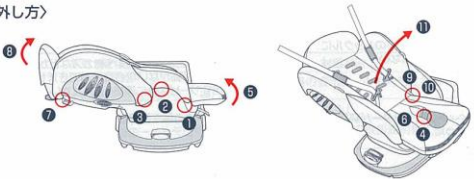
シートカバーの外し方

＜準備＞



- ① タングをバックルから外し、肩ベルトを外します。
- ② 肩ベルトをジョイント金具から外し、引き抜きます。
- ③ リクライニングを3段階目で倒します。

＜外し方＞



- ④ 側面のフックを外します。(左右)
- ⑤ 側面中部のフックを外します。(左右)
- ⑥ サイドカバーを外します。(左右)
- ⑦ シートカバー座席部のフックを外します。(左右)
- ⑧ シートカバーを持ち上げて取り外します。

57



- ① 股ベルトカバーのフック(2ヶ所)と面ファスナーを外し、抜き取ります。
- ② 前側からシートカバーをめくります。
- ③ 股ベルトをシートカバーから抜きます。



- ④ 側面上部のフックを外します。(左右)
- ⑤ ヘッドレスト部のシートカバーをめくります。
- ⑥ シートカバー座席部のフックを外します。(左右)



- ⑦ シートカバー座席部のフックを外します。(左右)
- ⑧ シートカバーを持ち上げて取り外します。

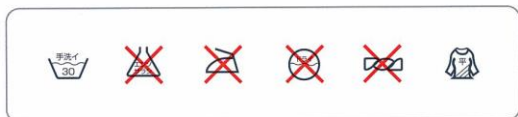
・シートカバーを取り付ける時は、逆の手順で取り付けてください。

禁止

・クッションを取り外したり、他のクッションと交換して使用しない。

58

シートカバーの洗濯



樹脂部分のお手入れ

〈ほこりなどを吸着した場合〉

・タオルなどで乾拭きしてください。

〈水溶性の汚れ（果汁、ヨダレ、オシッコなど）の場合〉

・40℃前後のお湯にタオルを浸し、軽く絞って拭き取ってください。

〈非水溶性の汚れ（牛乳、油脂、マヨネーズなど）の場合〉

・中性洗剤を溶解した40℃前後のお湯にスポンジを浸し、軽く絞って汚れた部分をスポンジで軽くこすります。その後、水又は温水にタオルを浸し、軽く絞って十分に中性洗剤を拭き取ってください。

保管するときは

・本体をポリ袋などに入れ、直接日光の当たらない、冷暗所に保管してください。

廃棄するときは

・事故により処分する場合は、本品に「事故品」と油性ペンで目立つところに記入してください。
 ・地球環境のため、不要になった場合は、お住まいの各自治体の指示にしたがい処分、廃棄してください。

保証について

保証期間とアフターサービス

- ・アフターサービスについて
 ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえお買い上げの販売店または、当社サービス係までご連絡ください。
- ・保証期間中（お買い上げ日より1年間です。）に部品の欠品、不良加工など当社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。
 ただし、ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしません。修理箇所の保証期間は1カ月です。また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。（部品の保有期間は、製造中止後3年間です。）

当社連絡先

〈アフターサービスについての連絡先〉

アップリカ・チルドレンスプロダクツ株式会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター TEL 0120-415-814

受付時間：AM10:00～PM5:00（土、日、祝日、当社所定休日を除く）

製品の仕様

商品サイズ	ベッド時：W795×D595×H840
	起立時：W455×D635×H1145
商品重量	〈850〉14.7kg 〈950〉15.0kg 〈1050〉15.1kg
材質	樹脂部：ポリプロピレン
	シートクッション：ポリエチレン発泡・ポリウレタン発泡
	表生地：ポリエステル